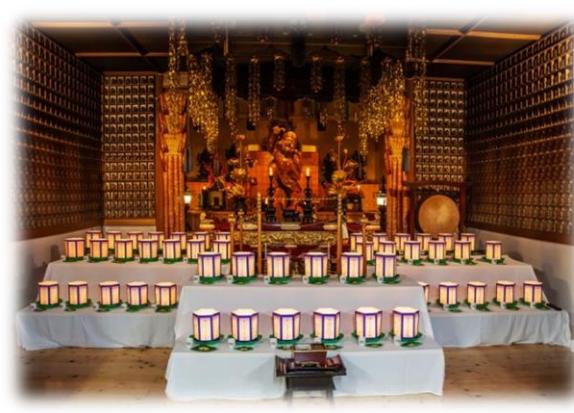


# 慈明院寺報七月号

## 灯籠の功德



帰命頂礼地藏尊 清き流れに舟浮べ  
亡き父母や精靈の頓成菩提を回向する  
百味の飯果を施して修する善根功德には  
華の台に招かれて永久かけて救わるる  
色とりどりのお灯籠歓喜の光明照らしつつ  
地蔵菩薩に導かれ極楽淨土へ往き給う  
尊い供養勤めなん



仏教行事として、日本のお寺では広く行われている。三界万靈（全ての生き物の靈）に供養を捧げて、家族やご先祖様の平穏無事を祈るという法会である。

写真は当院の施餓鬼法会で本堂に飾られた灯籠である。灯籠は盆提灯とも呼ばれ、日本のお盆行事を代表する風物詩である。その昔、お釈迦様が孟蘭盆会（夏の先祖供養）に出てきた蛇を追い払うために、灯火を用意させ火に夏虫が飛び込んで死なないように、薄布で灯火を覆わせたという故事に由来するという。盆提灯は先祖の靈がお盆に帰つてくる目印となり、先祖の魂を導く灯台のような存在とされている。

写真の下の歌詞は「施餓鬼精靈供養和讚」という御詠歌の歌詞である。毎年

施餓鬼法会に手伝いに来て頂いた数人の僧侶と、この御詠歌を唱え三界万靈の供養をさせて頂いている。この施餓鬼法会は夕方に行われ、太陽を浴びては生きていけない餓鬼や地獄の靈も救うという作法から、陽が沈んでから挙むのである。今年はできる範囲で施餓鬼法会を勤めたいと思う。 住職 合掌

## お施餓鬼 灯籠供養法会のご案内

（別紙参照）

来る令和三年 七月三十一日（土曜日）夕方七時より

\*紙灯籠に亡くなつた仏様の戒名や、先祖供養を謹書して灯籠に火を点し夕闇の中、数人の僧侶で読経してご供養を勤めます。どなたでもご参拝頂けます。（マスク着用でご参拝賜ります様、お願ひ申し上げます。）

\*ご供養をお申し込み頂いた紙灯籠は、お盆（八月十五日）まで本堂に安置してご供養致します。またお盆の灯りとしてお持ち帰り頂いても構いません。法会終了後、希望される方は灯籠をお渡しします。

## お盆のお参りについて

各檀家様には、七月中旬に「お盆参りのお知らせ」をお送りさせて頂きます。お忙しい時期とは存じますが、宜しくお願ひ申し上げます。隨時、お参りについてのお問い合わせ、変更等承ります。

住職 九拝

## 住職のひとりごと

コロナ禍二度目の夏、様々な不自由があると思いますが、まずは健康第一。皆様自愛下さい。熱中症にもお気をつけて・・・暑中お見舞い申し上げます。



慈明院（〒八一ー一ー三一 福岡市早良区大字西二三四一ー一〇）  
TEL（〇九二）八〇四一四五七〇 FAX（〇九二）八〇四一四六〇五  
住職・吉住大慈 携帯電話〇九〇一（五二八一）一七四九四